

日時	発言者	内容	市場への影響
4/2	トリシェECB総裁	「今回の金利が最低ではない。利下げは可能だ。」政策金利を引き下げた後での記者会見	ユーロドル1.33台→1.34台後半へ。
4/5	ガイトナー財務長官	GMの再建問題について「相当なリストラが必要。」CBSテレビのインタビューで。	-----
4/5	GMヘンダーソンCEO	「必要であれば破産法を活用した再建策をとる。」と改めて強調。CNNテレビのインタビューで。	-----
4/6	投資家ジョージソロス	「米経済は年内に回復しない。」「ドルの基軸通貨としての役割が将来、IMFの特別引き出し権(SDR)にとって代わられる可能性がある。」ロイターフィナンシャルテレビに答えて。	-----
4/8	FOMC議事録 (3月17日-18日分)	「参加者は、暗い景気見通しはさらに下振れリスクが支配的との認識を表明。雇用減や生産減に伴い、消費が圧迫されていることから、負の循環がもたされる可能性がある。」と記述。	ドル円100円台前半→99円台前半まで下落。
4/8	グリーンズバン前FRB議長	「住宅価格が下げ止まるまで景気後退は続く。」 「経済統計の速報値はマイナス幅が縮小している。」シカゴでの講演で。	-----
4/9	ホーニング カンザスシティ連銀総裁	「ストレステスト対象の19行は当局によるストレステストの審査で、更なる政府の介入が必要と判断される銀行はほとんどないだろうと考えている。」オクラハマ州での講演で。	株式市場での金融株急騰に大きく影響。
4/10	オバマ大統領	「米経済はなお厳しい緊張下にある。」としつつ「米経済にはかすかな希望の光も見え始めている。」財務長官、FRB議長との金融安定策協議後の会見で。	-----
4/14	バーナンキFRB議長	住宅や消費の回復を挙げ「景気の急激な悪化が減速している可能性を示す兆候がみられる。」「私は米米経済については基本的に楽観的だ。」ジョージア州での講演で。	-----
4/14	サマーズ米国家経済 会議(NEC)委員長	ここ数週間の米経済指標について「リセッションの深刻さが緩和されつつある可能性を示唆している。」ブルームバーグのインタビューに答えて。	-----
4/15	ウェーバー独連銀総裁	「ECBは5月初旬の定例理事会で非伝統的な金融政策を決定するだろう。」 「政策金利の1%未満への引き下げには批判的だ。」ハンブルグでの講演で。	ユーロドル1.32台半ば→1.31台半ばへ
4/17	スイス国立銀行総裁	「デフレ懸念がある限り、為替介入を含む非伝統的な金融緩和手法を続ける。」一部メディアが伝える。	ドルスイス1.14台→1.16台へ。